

合格体験記

氏 名:

担任講師:

山本 ・ 岡本

先生

在籍校舎:

南千住

校

進学先

都立白鷗高校附属中学校

その他
合格校

品川女子学院

* 入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

私は稲門学舎に入る前、公文には通っていましたが、塾には通っていませんでした。そのため、計算をする事は得意でしたが、文章読解が苦手でした。

六年の五月、私はクラスの半分の人が受験するのを知り、自分も受けてみたいと考えました。受験まで9ヶ月しかなかったので、グループ指導はついていけないと考えました。そこで、自分に合った勉強かできる、稲門学舎に通い始めました。塾に通い始めた時は、勉強量がこれまでの倍以上になり、とても大変でした。特にピアノは7月、バレーは12月まで習っていたので、習い事の両立が難しくなりました。それでも、少ない勉強時間で効立の良し勉強法を教えてください、私に合った勉強量を考えてくれたりしたので、短期間で知識や考え方をし、かり身に付けることが出来ました。

私が最もつらかったのは模試の結果が返ってきた時です。二学期の模試は偏差値が40ぐらいの事かとても多かったです。私は毎回、結果を見るたびに自分ができてない所を悔しく思い、泣いたり、勉強する気力をなくしたりして、これからの勉強に活かそうと頑張らしていませんでした。しかし、そんな私を最後まではげまし続け、挫折しても「受かりたい」という思いを復活させてくれたおかげで受験日はやる気や情熱を持って行えました。

適性検査は知識で解く問題よりも思考力を使って解く問題が多く出題されます。そのため、規則性の問題や記述系の問題などを沢山解き、より良い答えを導けるように指導していただきました。また、作文では接続語や誤字で点数



個別指導進学塾
稲門学舎

を引かれないう、文章を書く時の基本から
 し、かり教えてもらいました。私は具体例と
 して自分の体験を書く部分か、浅い事か多か、
 たです、岡本先生は私の弱点をし、かり理解
 して、楽しく勉強を教えてくれました。
 本番の日、私はとてもさんちゃんして、勝負も
 こわば、ていました。すると、お父さんが「
 そんな顔をしていたら全カ出せないよ。もっ
 と元気にならないう」と、言、てくれました。
 私はその言葉で少し明るくなれました。テス
 ト直前では、「これは私が受かるためだけに
 あるテストでこれを解いたら絶対に受かるテ
 ストだ」と自分に言い聞かせて自信をつけま
 した。途中、分からないう問題もありましたが、
 そのような問題は、みんなも解けない事にし、
 次に進みました。合格したと分か、た時、今
 までの努力が実、たと感じ、安心とうれしさ
 がこみあげてきました、
 私が白鷗中に合格できたのは、岡本先生と
 算数の先生の楽しく、分かりやすい授業、お
 もしろくて自信をくれた室長、誰よりも近く
 で見守、てくれたお母さん、お父さんのおか
 げです、この9ヶ月間、本当にありかとうご
 ざいました。



個別指導進学塾
 どうもんがくしゃ
稲門学舎